

大型FA機器の開発・設計はチームワークが不可欠。
稼働した際の達成感は格別です。

株式会社 レイマック 入社

北川 千楓さん

画像処理技術者・研究者

2019 年 専門課程 電子情報技術科 修了

高校時代は自宅のPCを使って、画像処理や音楽の作曲、イラスト制作などに熱中。進路を考える際には「好きなことを大切にしたい」と、通学にも便利な滋賀職能大を選択したそう。「入社当初は技術系業務を担当していた北川さんですが、学校で得た幅広い知識を活かし、現在では開発・設計の分野でもいかに実力を発揮されています」と総務の盛田さん。仕事への真面目な姿勢と協調性の高さから、今や周囲から大きな期待を集める存在になっている。



職場に同じ学校の修了生が多く、入社の際も安心でした

この仕事や研究の魅力・やりがい

工場などで生産ラインの自動化を図る大型FA(ファクトリーオートメーション)機器、画像処理用のLED照明などを製造する会社で、開発・設計の業務に携わっています。現在私が担当しているのは、FA機器グループの中でも主に画像処理の領域。検査装置がワーク(対象物)を正しく判定できているか、テストと検証を繰り返しながら1歩1歩装置を完成に近づけていきます。もちろんその過程では、グループ内の他メンバーやLED照明の開発担当者など、プロジェクトに関わるスタッフと緊密なコミュニケーションを取ることが不可欠です。最終的に装置全体が正しく動作することが確認できた瞬間は、とても大きな達成感を味わうことができます。



周囲との連携がプロジェクト成功の大切なポイントです

学校で学んだこと・学生時代

滋賀職能大では電子情報技術科でC言語やシーケンス制御、回路の組み方などを中心に勉強していました。特にシーケンス制御については、2年次に「電気機器組立て シーケンス制御」の国家資格を取得。FA機器の設計ではシーケンス制御の知識が必須ですので、学生時代の勉強を日々の業務に活かすことができている。また総合制作ではクルーレス(乗員なし)のソーラーボート作りにチャレンジ。ひとつの目標に向けてみんなで努力するという経験は、私にとってかけがえのない財産となりました。それまで開発・設計というひとりで仕事をする印象だったのですが、周囲と力を合わせてプロジェクトを完遂させることの楽しさを知ることができました。



分野選びの視点・アドバイス

私がこの学校を選んだのも、最初はただ「パソコンでイラストを描いたり、音楽を作ってみるのが好き」という単純な理由からでした。でも入学後に学びを進めていく中で、興味の幅がだんだん広がっていくのを実感できたのです。やはり進路を考える上で大切なのは、自分が興味のあるもの、面白いと感じる事柄に積極的にチャレンジしてみるのだと思います。学校で学ぶこと自体はあくまで「入口」に過ぎず、社会人になってからもっと多くの知識が習得できます。ですから、とにかく学生時代は「自分が夢中になれるものは何なのか」をじっくりと探し出す時間にしてほしいと思います。



将来的には画像処理の知識をさらに深めたいです